

[司法試験予備試験サンプル問題（一般教養科目）]

[短答式試験問題]

[第1問]

次の1から5までの各記述のうち、「すべての哲学者は真理を探究する」という主張に対して厳密な否定となる表現として、最も適切なものを選びなさい。なお、ここでの厳密な否定とは、形式論理学の「矛盾対当」に相当するものである。（解答欄は、[No. 1]）

1. 哲学者以外のすべての人は、真理を探究する。
2. 真理を探究する人の中には、哲学者でない人もいる。
3. すべての哲学者は、真理を探究しない。
4. 哲学者の中には、真理を探究する者も、真理を探究しない者もいる。
5. ある哲学者は、真理を探究しない。

【正解】 5

[第2問]

17世紀から18世紀にかけての人間や社会に関する哲学の重要な枠組みとされたのが自然法の考え方である。近代の自然法は、人間の本性（nature）にかなった正当な社会を構想するに当たっての理論的根拠として用いられた。次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。（解答欄は、[No. 2]）

1. ロックは、ピューリタン革命をもたらしたイギリスの内乱を背景に、生存のためなら何をしてよいという自然権を人間の生得的な権利とした。そして、この権利の無制約な行使は、「万人の万人に対する闘争」を招くとした。したがって、人間は、もし平和が可能と見たら、「平和を求めよ」という自然法に従い、自らの自然権を譲渡して絶対的主権（政治社会）を樹立するとした。
2. ホブズは、イギリスの商業発展を基盤に、身体や労働、財産を所有するという権利を人間の生得的な自然権とみなした。そして、この権利は、「他人の所有を侵すべきでない」という自然法の制約の下で成立すると説いた。そして、この自然法が具体化されるためには、政治社会の樹立が必要であるとした。
3. ルソーは、人間の不平等は自然法によって正当化されないとした。不平等を生み出す人間の利己的性質は、人間本来の共感と自己愛に根ざした自然な人間本性が、私的所有によってゆがめられたものであるとした。彼は、「社会契約」によって自由で平等な共同社会を構想できるとした。
4. マルクスは、人間は利己的でありながらも、他者への同感の感情も備えており、それが自らの利己心を制御するとした。したがって、人間は、自己の利益の追求を阻むいかなる政策も認

めてはならず、「見えざる手」としての自然法に従うことによって、公正な商業社会を形成できると説いた。

5. カントは、フランス革命の顛末^{てんまつ}から、フランス革命の理論的根拠として用いられた自然法の形式性や抽象性を批判した。その上で、他者との相互的な承認関係において成り立つ人倫を基礎とした共同社会を構想した。人倫は、家族、市民社会、国家の密接な連関の下で体系的にとらえられている。

【正解】 3

〔第3問〕

次の1から5までの各記述のうち、下線部分がそれ以前の部分から論理的に正しく導き出せるもの（演繹^{えんえき}として正しいもの）として最も適切なものを選びなさい。（解答欄は、【No. 3】）

1. 努力しなければ、栄光を勝ち取ることはできない。さて、彼は努力した。したがって、彼は栄光を勝ち取ることができる。
2. 生きるべきか生きるべきでないかのどちらかである。さて、生きていても恥をさらすだけである。したがって、生きるべきではない。
3. 言葉が巧みであるなら、人を感動させることができる。さて、彼は人を感動させることができる。したがって、彼は言葉が巧みである。
4. 誠実である場合にのみ、他者からの信頼を得ることができる。さて、彼は他者からの信頼を得ることができない。したがって、彼は誠実ではない。
5. 愛が存在しなければ、この世に幸福は無い。さて、この世には幸福がある。したがって、愛は存在する。

【正解】 5

〔第4問〕

次の文章の空欄（ア）に入る語句として最も適切なものを、後記1から5までの中から選びなさい。（解答欄は、【No. 4】）

（省 略）

1. 然らば首都の状況悪しかれども
2. 然れど首都の状況悪しからねば
3. 然らば首都の状況悪しからんには
4. 然れど首都の状況悪しからざれば
5. 然れど首都の状況悪しからんには

【正解】 3

【出典】 幸田露伴「一国の首都」 『露伴全集』第二十七卷（岩波書店，昭和 29 年）

〔第 5 問〕

次のアからオまでの和歌は、いずれも『古今和歌集』に掲載されている。これらに関する解説として明らかに誤っているものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。（解答欄は，【No. 5】）

- ア. 五月雨の空もとどろにほととぎす何を憂しとか夜ただ鳴くらむ
- イ. いま幾日春しなければ鶯も物はながめて思ふべらなり
- ウ. 音羽山音に聞きつつ逢坂の関のこなたに年を経るかな
- エ. 恋ふれども逢ふ夜の無きは忘れ草夢路にさへや生ひしげるらむ
- オ. つひに行く道とはかねて聞きしかど昨日今日とは思はざりしを

1. アの歌は、夏の夜の様子を詠んだ歌である。
2. イの歌は、「すもも」を題にした歌である。
3. ウの歌は、交際中の恋人が冷たくなったことを非難する歌である。
4. エの歌は、恋人がなかなか会ってくれない辛さを詠んだ歌である。
5. オの歌は、死を覚悟した病人が詠んだ歌である。

【正解】 3

〔第 6 問〕

次のアからオまでの各記述は、いずれも日本の近現代小説の書き出しである。これらに関する解説として明らかに誤っているものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。（解答欄は，【No. 6】）

（省 略）

1. アの小説は、明治 20 年代に書かれている。この時代には、言文一致体で小説を書くことがまだ定着しておらず、アのような文語体で書かれた作品が多かった。
2. イの小説は、昭和末期に書かれ、ミリオンセラーとなった作品である。この小説のタイトルは、ビートルズの楽曲名にちなんでいる。
3. ウの小説は、大正前期に書かれた作品である。この小説は朝日新聞に連載されていたが、作者が連載中に逝去したため未完に終わった。
4. エの小説は、大正末期に書かれた作品である。この頃から日本の風俗や芸術には、ヨーロッパの最先端の流行が反映されるようになった。この書き出しにも、そうした状況が反映されている。
5. オの小説は、昭和 30 年代から 40 年代にかけて書かれ、度々映画やテレビドラマにもなった。この作者の小説では、この作品のほかに、航空会社の内情を描いた『不毛地帯』などが有

名である。

【正解】 5

- 【出典】 ア 森鷗外『舞姫』(新潮文庫, 昭和 43 年)
イ 村上春樹『ノルウェイの森』(講談社文庫, 平成 16 年)
ウ 夏目漱石『明暗』(新潮文庫, 昭和 62 年)
エ 谷崎潤一郎『痴人の愛』(新潮文庫, 昭和 22 年)
オ 山崎豊子『白い巨塔』(新潮文庫, 平成 14 年)

〔第 7 問〕

外国文学に関する次のアからオまでの各記述のうち、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。(解答欄は、【No. 7】)

- ア. パリに生まれたエドガー・アラン・ポーは、探偵小説の元祖といわれている。彼の小説に登場する名探偵オーギュスト・デュパンは、風変わりだが異常に頭脳が明晰^{めいせき}、そのキャラクターはシャーロック・ホームズなどの造型に多大な影響を及ぼした。
- イ. オスカー・ワイルドは、英語を母語としていたが、代表作である『サロメ』は、最初からフランス語で書き下ろされた。この『サロメ』は、ビアズレーの手に成る挿絵でも知られている。
- ウ. ブロンテ姉妹は、ヨークシャーの牧師の家に生まれた。姉のシャーロットは『赤毛のアン』シリーズで注目され、妹のエミリーは『嵐が丘』で高い評価を得たが、二人とも三十代で早世した。
- エ. シェイクスピアが活躍した時代のヨーロッパには、画家のルーベンス、天文学者のケプラーなど、各分野に傑出^{けっしゅつ}した才能が現れた。同じ頃日本では、応仁の乱が起こり、多くの文化遺産が失われた。イギリスで文学が花開いた時代に、我が国では大量の書物が戦乱によって灰となり、文化伝統の断絶が起こったことは、何とも皮肉といえる。
- オ. 1960 年代以降、イギリスには大量の移民が流入し、グローバリゼーションが進んだ。文学の領域でも、日本生まれのカズオ・イシグロなど、非西欧圏で生まれた作家の活躍が目立つようになった。

1. ア オ
2. イ オ
3. ウ オ
4. イ エ
5. ウ エ

【正解】 2

〔第 8 問〕

次の文章の空欄（ア）から（ウ）までに入る人名の組み合わせとして最も適切なものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。（解答欄は、【No. 8】）

（省 略）

- | | | | | | |
|------|------|---|------|---|------|
| 1. ア | 新井白石 | イ | 緒方洪庵 | ウ | 福沢諭吉 |
| 2. ア | 新井白石 | イ | 前野良沢 | ウ | 吉田松陰 |
| 3. ア | 荻生徂徠 | イ | 桂川甫周 | ウ | 高杉晋作 |
| 4. ア | 荻生徂徠 | イ | 緒方洪庵 | ウ | 福沢諭吉 |
| 5. ア | 林羅山 | イ | 前野良沢 | ウ | 吉田松陰 |

【正解】 2

【出典】 芳賀徹「名詩名訳の文化史的系譜」『翻訳と日本文化』（山川出版社，平成 12 年）

〔第 9 問〕

次のアからエまでの各記述の空欄（A）から（D）までに入る人名の組み合わせとして最も適切なものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。（解答欄は、【No. 9】）

- ア. (A) は、田原藩士として儒学の研さんに励み、家老に昇ったが、画家としては『鷹見泉石像』などの肖像画を残した。農学、蘭学にも関心を示し、高野長英らと交わったが、「蕃社の獄」で罪を問われ、自ら命を絶った。
- イ. (B) は、アーネスト・フェノロサと共に日本古美術の調査を行い、東京美術学校設立のために尽力したが、後に東京美術学校を離れて日本美術院を創設した。また、ボストン美術館東洋部長となり、『東洋の理想』『茶の本』などの英文著作を残した。
- ウ. (C) は、大正期の白樺派に参加したが、朝鮮の美術に関心を持って『朝鮮の美術』などを著し、朝鮮総督府の政策を批判した。民藝運動の中心人物として日本民藝館を設立する一方、日本の陶芸を学んだバーナード・リーチとも交友を持った。
- エ. (D) は、大正期に渡仏してエコール・ド・パリの画家らと交流を持ち、日本画の技法を用いた画でフランス画壇に人気を博した。日本に帰国した後は、戦時中『アツツ島玉砕』など多くの戦争画を残したが、戦後は日本を離れ、フランスに帰化した。

- | | | | | | | | |
|------|------|---|------|---|-------|---|------|
| 1. A | 司馬江漢 | B | 岡倉覚三 | C | 有島生馬 | D | 岡鹿之助 |
| 2. A | 司馬江漢 | B | 伊沢修二 | C | 野口米次郎 | D | 藤田嗣治 |
| 3. A | 本多利明 | B | 黒田清輝 | C | 有島生馬 | D | 佐伯祐三 |
| 4. A | 渡辺崋山 | B | 岡倉覚三 | C | 柳宗悦 | D | 藤田嗣治 |
| 5. A | 渡辺崋山 | B | 黒田清輝 | C | 野口米次郎 | D | 佐伯祐三 |

【正解】 4

〔第10問〕

次のアからオまでの各記述のうち、明らかな誤りを含むものの組み合わせとして最も適切なものを、後記1から5までのの中から選びなさい。（解答欄は、〔No.10〕）

- ア. かつて洛陽と呼ばれた西安では、1936年、蔣介石が張学良によって監禁される西安事件が起こり、国民党と共産党とが抗日戦をめぐる国共合作を成す契機となった。
- イ. かつてマドラスと呼ばれたチェンナイは、ポルトガル、オランダ、イギリスによる支配を通じてベンガル湾の港湾都市として栄え、現在も自動車産業などが集積している。
- ウ. かつてニューアムステルダムと呼ばれたニューヨークにある自由の女神像は、アメリカ合衆国独立百年を記念して、合衆国議会の発議によりハドソン河の河口に建立された。
- エ. かつてサイゴンと呼ばれたホーチミンは、メコン川のデルタ地帯に発達した都市で、ベトナム戦争時には南ベトナム政府が置かれた、ベトナム経済の一大中心地である。
- オ. かつてレニングラードと呼ばれたサンクトペテルブルクは、18世紀、ピョートル大帝によってネヴァ河の河口に建設され、ソ連邦崩壊後、現在の名称に戻された。

- 1. ア ウ
- 2. ア エ
- 3. イ オ
- 4. ウ エ
- 5. ウ オ

【正解】 1

〔第11問〕

次の1から5までの各記述のうち、日本文化に関する評論として明らかに誤っているものを選びなさい。（解答欄は、〔No.11〕）

- 1. 過去にもフランスで浮世絵が高く評価されたように、欧米における日本文化は、聴覚的なものよりも視覚的なものの方が広まりやすいといえる。現代でも、アニメや漫画など、視覚にかかわるジャンルが人気を集めている。
- 2. 江戸時代の日本は、同時代の世界でも異例なほど識字率が高く、大衆的な出版文化が発達していた。歌舞伎など、演劇や見世物の興行も盛んであった。この時期の文化の在り様と、現代日本の大衆文化の共通性を指摘する意見も多い。
- 3. 『源氏物語』を始め、日本では、世界で最も早い時期に「長編の散文フィクション」が書かれた。これには、中国語や欧米の言語に比べてアクセントが単純で、母音の数も少ないという日本語の特質が関係しているという。韻文で長い作品を作ると、響きが単調になりやすいので、物語や歴史は主に散文で語られるようになったというのである。
- 4. 日光東照宮は、ドイツの建築家ブルーノ・タウトによって絶賛された。タウトが日本を訪れた1930年代、建築や装飾美術の世界ではアールデコと呼ばれる様式が流行していた。日光東

照宮は、パターンの反復やシンメトリーを多用し、曲線よりも直線を重視するアールデコの美学に合致していた。このことが、タウトによる絶賛につながったともいわれている。

5. 「花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは」と『徒然草』に書かれている。この「美を絶頂において楽しむのが最善とは限らない」という発想は、鎌倉時代以降、取り分け有力になった。平安時代中期の寺院や仏像は、総じて、鎌倉時代に勃興した様式に比べてずっと派手な色に塗られていたといわれる。その「派手さ」は、余韻を楽しむことが、必ずしも美意識の主流ではなかったことを示唆している。

【正解】 4

〔第12問〕

デュルケームの『自殺論』(1897年)は、自殺の社会的要因を明らかにしようとした、社会学の古典的作品である。デュルケームは、そこで種々の統計的データを活用している。その上で、彼は、自己本位的(利己的)自殺、集団本位的(利他的)自殺、アノミー的自殺の三つの類型に自殺を区分した。このうち自己本位的自殺は、社会的統合の弱体化が原因で生じる自殺と説明される。

次の1から5までの各記述は、『自殺論』で提示されている命題である。これらの各記述のうち、自己本位的自殺の説明として適切でないものを選びなさい。(解答欄は、[No.12])

1. プロテスタントのほうがカトリックよりも自殺率が高い。これはプロテスタントの教会が、カトリックの教会ほど強力に統合されていないからである。
2. 結婚は自殺の抑止効果を持つ。
3. 子どもを得ることは自殺の抑止効果を持つ。
4. 戦時下は自殺が少ない。これは戦争によって、強固な社会的統合が実現するからである。
5. 未開社会では首長が死ぬと、臣下が後を追う風習があった。

【正解】 5

〔第13問〕

社会的連帯に関する次の文章の空欄(ア)から(エ)までに入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、後記1から5までの中から選びなさい。(解答欄は、[No.13])

アメリカの社会学者R. コリンズは『社会学的洞察力』(邦題『脱常識の社会学』)のなかで、かれのいう「社会学的洞察力」を遺憾なく発揮している。たとえばかれは、契約についてこういう。一般に契約は、暗黙裏のもう一つの契約によって支えられている。すなわちそれは、「契約を守る」という契約である、と。人々は(ア)に基づいて、他者と契約を結ぶ。しかしそれは、(イ)に支えられているというのがかれの主張である。コリンズはそれを、社会の存立の条件ととらえている。あるいはまたかれは、犯罪についてこういう。常識的には犯罪は、社会の安定を(ウ)するものと理解されている。しかしそれは、かえって社会の安定に(エ)している、と。いった

ん犯罪が起こると、犯人を探し、捕らえ、罰するための種々の活動が展開される。この一連の過程（コリンズはそれを、宗教的な儀礼に喩^{たと}えている）は、人々の規範意識あるいは秩序意識の強化に大いに役立っているというのである。

- | | | | | | | | |
|------|---------|---|---------|---|----|---|----|
| 1. ア | 合理的な信頼 | イ | 非合理的な計算 | ウ | 阻害 | エ | 逆行 |
| 2. ア | 非合理的な計算 | イ | 合理的な信頼 | ウ | 促進 | エ | 寄与 |
| 3. ア | 合理的な計算 | イ | 非合理的な信頼 | ウ | 促進 | エ | 寄与 |
| 4. ア | 非合理的な信頼 | イ | 合理的な計算 | ウ | 促進 | エ | 逆行 |
| 5. ア | 合理的な計算 | イ | 非合理的な信頼 | ウ | 阻害 | エ | 寄与 |

【正解】 5

〔第14問〕

社会保障の源流をめぐる次の文章の空欄（ア）から（ウ）までに入る語の組み合わせとして最も適切なものを、後記1から5までの中から選びなさい。（解答欄は、〔No.14〕）

（省 略）

- | | | | | | |
|------|-----|---|-------|---|-----|
| 1. ア | 工場法 | イ | モルトケ | ウ | 保守党 |
| 2. ア | 人民法 | イ | ティエール | ウ | 自由党 |
| 3. ア | 救貧法 | イ | ビスマルク | ウ | 労働党 |
| 4. ア | 人民法 | イ | モルトケ | ウ | 自由党 |
| 5. ア | 救貧法 | イ | ビスマルク | ウ | 保守党 |

【正解】 3

【出典】 奥井智之『社会学』（東京大学出版会、平成 16 年）

〔第15問〕

米英の議会制度に関する次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。（解答欄は、〔No.15〕）

1. アメリカの連邦議会の上院議員は、州を単位として、各州 2 名ずつ選出される。これに対して、下院議員は、人口に比例して各州から選出される。
2. アメリカの連邦議会の下院は、不信任決議によって大統領を罷免する権限を持っている。これに対し、大統領は、下院の解散権を持っている。
3. アメリカの連邦議会に法案を提出できるのは、大統領と連邦議会議員である。実態としては、大統領提出法案のほうが議員提出法案よりも多い。
4. イギリスの議会は、上院＝貴族院と下院＝庶民院の二院制をとっている。上院は、法案の最

終的決議権を持ち、下院に対する優越性を保っている。

5. イギリス議会の下院は、大選挙区制によって選挙された下院議員から構成される。慣習的に、下院の過半数を制した政権党が内閣を構成する。

【正解】 1

〔第16問〕

国際連合（UN）に関する次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。（解答欄は、〔No.16〕）

1. 国際連合（国連）は、国際連盟に代わる普遍的な国際組織として、第二次世界大戦中から構想された。その土台にあったのは第二次世界大戦中における、米英仏中4カ国の協力関係であった。そのため1945年の国連発足時には、ソ連は国連加盟国ではなかった。
2. 国連の機関の中で重要な権限を持つのは、全加盟国から構成される総会と15の理事国から構成される安全保障理事会である。安全保障理事会は、米英仏露中の常任理事国5カ国と、常任理事国が2年ごとに指名する非常任理事国10カ国から構成されている。
3. 安全保障理事会には、「国際の平和及び安全の維持」（国連憲章1条）のために、強力な権限が付与されている。例えば、軍事的及び非軍事的な強制措置の発動が、それに当たる。安全保障理事会の決定は、対等の権限を持つ15の理事国の過半数の賛成による。
4. 我が国は、1956年の日ソ共同宣言の2カ月後に、国連総会で国連加盟を承認された。我が国の東京には、現在、国連の一機関である国連大学本部が置かれている。また、2010年3月現在、我が国は安全保障理事会の非常任理事国を務めている。
5. ユネスコ（UNESCO）は、国連の専門機関の一つで、1946年に設立された。ユネスコは、教育・科学・文化の領域での国際的な協力を目的とする機関で、パリに本部が置かれている。1999年から2009年までの間、日本人の緒方貞子はその事務局長を務めた。

【正解】 4

〔第17問〕

経済学では、市場が「完全競争」状態になったときに、経済的な側面から見た社会の効率性が最大になると仮定している。完全競争に関する次の1から5までの各記述のうち、正しくないものを選びなさい。（解答欄は、〔No.17〕）

1. インターネットに代表される情報技術が発達し普及するほど、市場は完全競争に近づく。
2. 消費者のニーズが多様化するほど、市場は完全競争に近づく。
3. 経済活動のグローバル化が進むほど、市場は完全競争に近づく。
4. 規制緩和が進むほど、市場は完全競争に近づく。
5. 市場が完全競争に近づくほど、企業にとって利益を獲得するのは困難になる。

【正解】 2

〔第18問〕

A社、B社及びC社は、いずれも製造企業であって、それぞれ次の【生産状況】のとおり生産している。生産コストを下げる主要な論理として、「規模の経済」、「範囲の経済」、「学習の経済（経験効果）」の三つを考える場合に、後記アからウまでの各記述の空欄（ア）から（ウ）までに入る語の組み合わせとして最も適切なものを、後記1から5の中から選びなさい。なお、これらの企業間に、【生産状況】にある以外の条件の違いは無いものとする。（解答欄は、【No.18】）

【生産状況】

A社 6か月前に操業を開始したばかりで、製品Xを月に1000個、製品Yを月に100個生産している。製品Xと製品Yは生産設備の40%を共有している。

B社 10年前から操業を開始し、それ以来製品Xだけを月に50個生産している。

C社 1年前から操業を開始し、それ以来製品Xを月に150個、製品Yを月に150個生産している。製品Xと製品Yは生産設備を共有せず、それぞれに独立した設備で生産されている。

【記述】

ア. 3社のうち最も大きな規模の経済を享受しているのは（ア）社である。

イ. 3社のうち最も大きな範囲の経済を享受しているのは（イ）社である。

ウ. 3社のうち最も大きな学習の経済（経験効果）を享受しているのは（ウ）社である。

- | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|
| 1. ア | A | イ | A | ウ | A |
| 2. ア | A | イ | A | ウ | B |
| 3. ア | A | イ | C | ウ | A |
| 4. ア | B | イ | A | ウ | B |
| 5. ア | B | イ | C | ウ | A |

【正解】 2

〔第19問〕

マックス・ウェーバーは、技術的に卓越した組織の管理構造を「官僚制」（ビュロクラシー）と名付け、それは次のアからオまでの各記述のような特性を備えているとした。しかし、このような合理的組織構造の理想型としての官僚制は「意図せざる結果としての逆機能（マイナスの機能）」を含んでいる。官僚制の逆機能に関する後記1から5までの記述のうち、正しくないものを選びなさい。（解答欄は、【No.19】）

ア. 職務担当者の機能は規則によって規定される。

イ. 組織における職務は規定された権限の範囲内で行われ、権限の内容と行使は事前に明確に定義されている。

ウ. 上位の職位が下位の職位に命令するという階層的権限体系が存在する。

エ. 職務の執行は文書によって行われ、文書に記録される。

オ. 組織のメンバーは該当組織に専従する。

1. 組織メンバーの専門的な能力の開発が阻害される。
2. 意思決定に際して決まったやり方が繰り返され、組織のメンバーが変化した状況に対応できないという「訓練された無能」を示す。
3. 個人のニーズや状況を配慮しない一般的規則の適応が優先され、組織外部の顧客志向のサービスが阻害される。
4. 組織のメンバーが組織内部のパワーや地位の分配に汲々^{きゅうきゅう}とし、最終目的の達成を意図した手段としての活動や価値それ自体が目的にすり替わってしまう。
5. 不確実性に直面した場合や特別の努力が必要となる場合でも、組織のメンバーが規則によって規定された最低水準の行動しかとらなくなる。

【正解】 1

〔第20問〕

企業がある産業に参入しようとするときに、参入を困難にする要因を参入障壁という。また、企業が既に参入して事業をしている産業から撤退しようとするときに、撤退を困難にする要因を退出障壁という。ある産業の収益性とその産業の参入障壁と退出障壁との関係に関する次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。（解答欄は、〔No.20〕）

1. 参入障壁と退出障壁が共に高いほど、その産業の収益性は大きくなる。
2. 参入障壁と退出障壁が共に低いほど、その産業の収益性は大きくなる。
3. 参入障壁が高く、退出障壁が低いほど、その産業の収益性は大きくなる。
4. 参入障壁が低く、退出障壁が高いほど、その産業の収益性は大きくなる。
5. 参入障壁と退出障壁はいずれもその産業の収益性に影響を与えない。

【正解】 3

〔第21問〕

一定速度で走行する列車が、警笛を鳴らしながら踏切を通過した。警笛の周波数は、列車が観測者に近づいてくるときには 765.0 Hz、列車が観測者から遠ざかるときには 680.0 Hz で観測された。このとき、実際に列車が発している警笛の周波数は何 Hz か。次の1から5までの各数値のうち、最も適切なものを選びなさい。ただし、観測時は無風状態であって、列車は観測者に対して真正面から近づき、後方へ遠ざかるとする。また、音速を 340.0 m/s とする。（解答欄は、〔No.21〕）

1. 700.0
2. 710.0
3. 722.5
4. 720.0
5. 725.0

【正解】 4

〔第22問〕

高い塔の頂上から物体を自由落下させるときの運動を考える。定量的には自転を考えに入れた座標系で取り扱うが、ここでは定性的に考えることにする。地上にある塔は地表面もろとも自転軸の回りを一日に一回りする角速度で回る。自転による水平速度は、この角速度と自転軸からの距離の積で表される。これは、塔の頂上と塔の根元では自転の角速度は同じであるが自転軸からの距離が異なるため、水平速度が異なることを意味する。さて、物体に対する空気の抵抗や風の影響は考えないとき、落下する物体はどこに着地するか。次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。ただし、地球の自転を考慮することとし、重力によって平らとなる水平面に対して垂直な方向で、上と下の向きを定義する。また、地上や地表として考えるのは、日本付近とする。

(解答欄は、【No.22】)

1. 厳密に塔の真下
2. 塔の真下からやや東側
3. 塔の真下からやや西側
4. 塔の真下からやや南側
5. 塔の真下からやや北側

【正解】 2

〔第23問〕

放射性同位元素から発せられる放射線は、その強度 I が時間 t とともに、 $I = 2^{-t/\tau} I_0$ という関係式で説明されるように減少する。ここで、 I_0 は時刻 $t = 0$ での強度であり、 τ は放射性同位元素の半減期である。観測した I を縦軸、経過時間 t を横軸にとってグラフにしたときの特徴について、次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。ただし、バックグラウンド強度や統計的な揺らぎ、誤差については無視できるものとする。(解答欄は、【No.23】)

1. 普通の線形軸の方眼紙を使うと、結果は直線となる。
2. 片対数方眼紙を使って、 I を対数軸、 t を線形軸にとると、結果は直線となる。
3. 片対数方眼紙を使って、 I を線形軸、 t を対数軸にとると、結果は直線となる。

4. 両対数方眼紙を使うと、結果は直線となる。
5. 普通の線形軸の方眼紙、片対数方眼紙、又は両対数方眼紙のいずれを使っても、結果は直線にならない。

【正解】 2

〔第24問〕

メタン (CH_4) 8.00 g を空気中で完全燃焼させると二酸化炭素と水が生成した。このとき発生する二酸化炭素は、標準状態で何 L か。次の1から5までの数値のうち、最も適切なものを選びなさい。ただし、水素、炭素、酸素の原子量は、それぞれ 1.01, 12.0, 16.0 とする。(解答欄は, [No. 24])

1. 0.500
2. 1.00
3. 5.60
4. 11.2
5. 22.4

【正解】 4

〔第25問〕

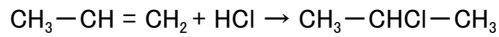
化学変化が進む方向に関する次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。(解答欄は, [No.25])

1. 「エントロピーは増大する」と言われるように、化学変化は必ずエントロピーが増大する方向に進む。
2. 内部エネルギーが低い状態ほど安定なので、化学変化は必ず内部エネルギーが減少する方向に進む。
3. 化学変化が進む方向は、温度によって変わることがある。
4. 化学変化は、自由エネルギーが増加する方向に進む。
5. 断熱条件下で化学変化が自発的に起こることはない。

【正解】 3

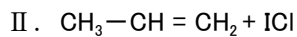
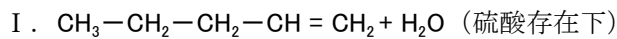
〔第26問〕

二重結合を持つ鎖状炭化水素 (アルケン) の二重結合は反応性に富み、様々な分子が親電子的に付加する。例えば、次のようにプロペンに塩化水素が付加する反応が起こる。

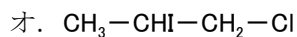
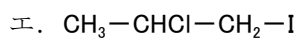
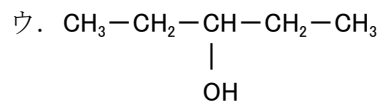
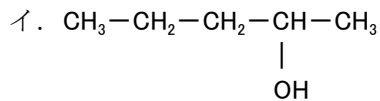
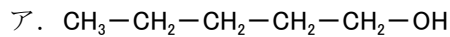


このとき、 $\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}_2\text{Cl}$ はほとんど生成しない。このことを参考にして考えると、次のⅠ及びⅡの【反応】によってそれぞれ生成するのは、後記アからオまでの【生成物】のうち、いずれか。これらの組み合わせとして最も適切なものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。(解答欄は、[No.26])

【反応】



【生成物】



1. 反応Ⅰの生成物はア、反応Ⅱの生成物はエ
2. 反応Ⅰの生成物はア、反応Ⅱの生成物はオ
3. 反応Ⅰの生成物はイ、反応Ⅱの生成物はエ
4. 反応Ⅰの生成物はイ、反応Ⅱの生成物はオ
5. 反応Ⅰの生成物はウ、反応Ⅱの生成物はエ

【正解】 3

〔第27問〕

肝臓には薬物代謝酵素 CYP2D6 があって、それが飲んだ薬の効き目を左右するといわれている。例えば、体内に血栓が出来た場合、それを溶かす薬としてワーファリンが使われている。活性の強い CYP2D6 を持つ人をスーパー・メタボライザー、活性の弱い CYP2D6 しか持たない人をプア・メタボライザーと呼ぶが、この違いによって、治療に必要なワーファリンの量は 100 倍も異なることが知られている。

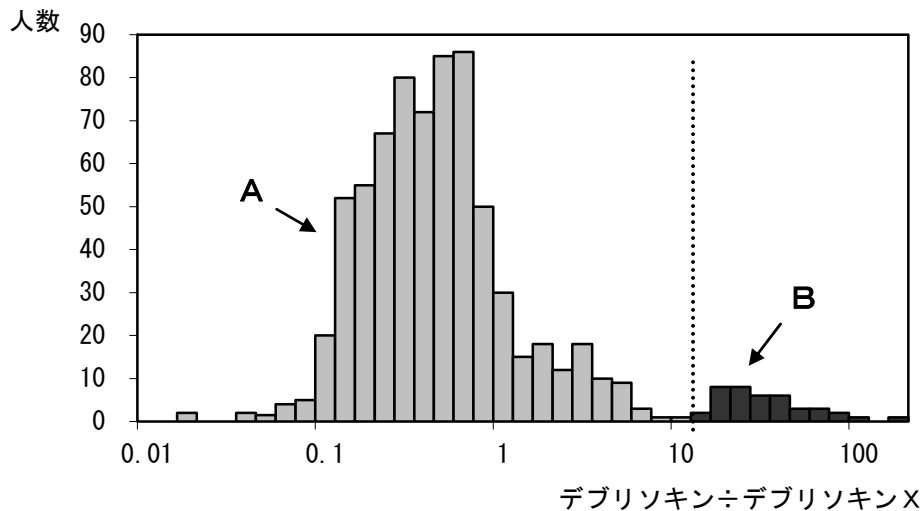
日本人数百人に対して薬物代謝の実験をしたところ、【図 1】のような結果が得られた。これは

デブリソキンという薬を投与してから一定時間後の血液中のデブリソキンと代謝産物であるデブリソキンXの量比（デブリソキン÷デブリソキンX）を調べたものである。

【図1】の結果から考えられる記述として最も適切なものを、次の1から5までの中から選びなさい。（解答欄は、【No.27】）

1. スーパー・メタボライザーはA、プア・メタボライザーはBで、Aの方が治療に必要な薬剤が少なくて済む。
2. スーパー・メタボライザーはA、プア・メタボライザーはBで、Bの方が治療に必要な薬剤が少なくて済む。
3. スーパー・メタボライザーはB、プア・メタボライザーはAで、Aの方が治療に必要な薬剤が少なくて済む。
4. スーパー・メタボライザーはB、プア・メタボライザーはAで、Bの方が治療に必要な薬剤が少なくて済む。
5. スーパー・メタボライザーはプア・メタボライザーに比べて大きな肝臓を持っている。

【図1】



【正解】 2

〔第28問〕

遺伝子型が AA と BB の生物を交配して得られた雑種第 1 代を CC と交配し、雑種第 2 代集団 X を得たとする。一方、遺伝子型が BB と CC の生物を交配して得られた雑種第 1 代を AA と交配し、雑種第 2 代集団 Y を得たとする。X と Y の自由交配で、遺伝子型がホモになる確率は、どれだけか。次の 1 から 5 までの数値のうち、最も適切なものを選びなさい。（解答欄は、【No.28】）

1. $\frac{1}{16}$

2. $\frac{1}{8}$

3. $\frac{1}{4}$

4. $\frac{3}{16}$

5. $\frac{5}{16}$

【正解】 5

〔第29問〕

三大栄養素といわれている糖、脂質、タンパク質は、エネルギー源として重要である。これらがエネルギーとして使われるメカニズムに関する次のアからオまでの各記述のうち、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、後記1から5までの中から選びなさい。（解答欄は、〔No.29〕）

ア. 多糖類であるグリコーゲンは加水分解されてグルコースとなり、1分子のグルコースは解糖系によって最終的に2分子のピルビン酸になる。ピルビン酸はオキサロ酢酸に変わった後にクエン酸回路に入るが、これらの反応の中で作られた水素イオンが最終的に酸素と反応して水が作られる。

イ. タンパク質は胃や腸で加水分解されてアミノ酸になる。様々なアミノ酸は、解糖系の最終産物であるピルビン酸以降の経路に入り、クエン酸回路や電子伝達系を通してエネルギーが作られる。

ウ. 脂肪は、すい臓から分泌されるリパーゼによって加水分解され、脂肪酸とグリセリンになる。脂肪酸にはカルボキシ基はないが水酸基があり、 β 酸化という経路を通してアセチル CoA が作られる。グリセリンも代謝されて解糖系に入り、すべてエネルギー源になる。

エ. ミトコンドリアが関与しないエネルギー産生経路がある。マラソンや長時間のサッカーなどでは、主にこの経路でエネルギーが作られる。

オ. 筋肉では、エネルギー源として ATP、クレアチンリン酸、グリコーゲンなどが使われる。これらは、上記の順に速く枯渇し、長時間の運動ではグリコーゲンが主に使われる。

1. ア イ ウ エ

2. ア イ エ オ

3. ア ウ エ オ

4. イ オ

5. ウ エ

【正解】 4

〔第30問〕

地球における様々な現象に関する次の1から5までの各記述のうち、最も適切なものを選びなさい。(解答欄は, [No.30])

1. 火山の噴火様式や火山地形は火山ごとに特徴が見られ, それはマグマに含まれる SiO_2 の含有率と関係する。大規模な火砕流を発生させる火山のマグマタイプは, SiO_2 の含有率が低い黒色の玄武岩である場合が多く, 大規模な火砕流の発生に伴い, カルデラやシラス台地が形成されることがある。
2. 日本列島周辺には多数の火山が存在する一方で, 多くの地震が発生することが知られている。日本列島の内陸部で発生する直下型地震は, その周辺域の海溝で発生する巨大な地震と異なり, その大半が地下に存在するマグマの活動により発生する。
3. 地震には, 大きな規模のものは少なく, 小さな規模のものは数多くなるという傾向がある。地震の規模を表現する方法には様々なものがあるところ, 地震による揺れを階級化したマグニチュードは最大 7 まであり, マグニチュード 6 を超えると家屋の被害が急増する。
4. 地球の地表面の形状は長い時間をかけて変化する。地球の表面を覆うプレートは, 年間約 10 cm 以下の速度で水平方向に移動するのに対し, 世界各地の変動帯では, 年間約 10 cm 以下の速度で隆起運動ないしは沈降運動が生じている。
5. 日本列島は, かつてユーラシア大陸の一部であったが, 地殻変動により, 1500 万年前を含む中新世と呼ばれる地質時代にユーラシア大陸から分離した。日本列島で見られる恐竜の化石や旧石器時代の遺物は, この分離前後の中新世に生きていた恐竜や人類によるものである。

【正解】 4

〔第31問〕

a を整数とし, 2 次の正方行列を $A = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & a \end{pmatrix}$ とおく。 A が逆行列 A^{-1} を持ち, A^{-1} の

どの成分も整数となるような a の値として最も適切なものを, 次の1から5までの中から選びなさい。(解答欄は, [No.31])

1. -4
2. -4 と 4
3. 0 と 4
4. 5 と 7
5. 6

【正解】 4

〔第32問〕

五つのデータ 2, 3, 5, 6, 9 の分散 (=標準偏差の 2 乗) の値として最も適切なものを、次の 1 から 5 までの中から選びなさい。ただし、分散は、不偏分散ではなく、標本分散のことを意味するものとする。(解答欄は, [No.32])

1. 2
2. 4
3. 6
4. 8
5. 10

【正解】 3

〔第33問〕

次の英文中の空欄 (ア) 及び (イ) に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。(解答欄は, [No.33])

(省 略)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ア existent | イ habitats |
| 2. ア existent | イ hangers |
| 3. ア export | イ havens |
| 4. ア extinct | イ habitats |
| 5. ア extinct | イ havens |

【正解】 4

【出典】 Andy Hopkins and Joc Potter, *Animals in Danger*. Oxford University Press, 2008.

〔第34問〕

次の英文に続くものとして、後記アからウまでの各記述を並べ替えた場合に、その順序として最も適切なものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。(解答欄は, [No.34])

(省 略)

1. ア ウ イ
2. イ ア ウ
3. イ ウ ア
4. ウ ア イ

5. ウ イ ア

【正解】 5

【出典】 Brigit Viney, *The History of the English Language*. Oxford University Press, 2008.

〔第35問〕

次の英文の空欄（ア）に入る語として最も適切なものを，後記1から5までの中から選びなさい。（解答欄は，〔No.35〕）

（省 略）

1. economics
2. emigrants
3. equivalentents
4. essentials
5. exceptions

【正解】 4

【出典】 Nick Middleton, *Deserts: A Very Short Introduction*. Oxford University Press, 2009.

〔第36問〕

次の英文中の下線部につき，その意味を表す表現として最も適切なものを，後記1から5までの中から選びなさい。（解答欄は，〔No.36〕）

（省 略）

1. 新しい考え方を打ち出す
2. 新しい考え方を抑えこむ
3. 新しい考え方を確かめる
4. 新しい考え方を問い直す
5. 新しい考え方をひろめる

【正解】 1

【出典】 Manfred B. Steger, *Globalization: A Very Short Introduction*. Oxford University Press, 2009

〔第37問〕

次の英文中の空欄（ア）及び（イ）に入る語の組み合わせとして最も適切なものを，後記1

から5までの中から選びなさい。(解答欄は, [No.37])

(省 略)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ア effects | イ negotiations |
| 2. ア effects | イ reductions |
| 3. ア emissions | イ speculations |
| 4. ア emissions | イ reductions |
| 5. ア excesses | イ negotiations |

【正解】 4

【出典】 *The Japan Times*, Dec. 7, 2009. "A brief history of climate talks: Looking back, looking forward" by Setsuko Kamiya

〔第38問及び第39問〕

以下の英文を読んで, 第38問, 第39問に答えなさい。なお, 第38問又は第39問のうち, 一方を選択し, 他方を選択しないこともできる。(解答欄は, 第38問が [No.38], 第39問が [No.39])

(省 略)

〔第 38 問〕

上記英文中の空欄 (ア) 及び (イ) に入る語の組み合わせとして最も適切なものを, 次の1から5までの中から選びなさい。(解答欄は, [No.38])

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. ア exceed | イ do |
| 2. ア exceed | イ consist |
| 3. ア expect | イ go |
| 4. ア extend | イ go |
| 5. ア extend | イ do |

〔第 39 問〕

上記英文中の空欄 (ウ) に入る語句として最も適切なものを, 次の1から5までの中から選びなさい。(解答欄は, [No.39])

1. A balance of
2. A combination of
3. The number of
4. The quality of
5. The variety of

【正解】〔第 38 問〕 1

〔第 39 問〕 2

【出典】 *The Japan Times*, Dec. 7, 2009. "Agriculture must be rebuilt ahead of oil's 'noble' limits" by Takamitsu Sawa

〔第40問〕

次の英文中の空欄（ア）から（オ）までに後記 a から e までの【数式】を入れる場合、その組み合わせとして最も適切なものを、後記 1 から 5 までの中から選びなさい。（解答欄は、[No. 40]）

Physical phenomena can be described with a differentiation formula and with an integration formula. The relation between the two expressions helps to clarify the behavior. For example, by integrating twice the equation of motion when a body falls downward, we can show that the law of mechanical conservation of energy is valid.

When the body starts to fall, the position and the velocity at the time $t = 0$ are y_0 and v_0 , respectively. After the body has fallen, the position and the velocity at time t are y and v , respectively. The body has mass m . We do not consider air resistance. The acceleration of the gravity is g .

Remember Newton's second law of motion. The equation of motion, a second order differential equation, is (ア).

By dividing (ア) by m and integrating it, we obtain (イ), where $\frac{dy}{dt}$ means v along y direction at t . In (イ), we substituted $v = v_0$ when $t = 0$. Using (イ), v can be solved as a function of t . By integrating the first order differential equation (イ), it becomes (ウ), where $y = y_0$ when $t = 0$. Using (ウ), y can be solved as a function of t . By combining (イ) and (ウ) with eliminating t , they can be written as (エ).

This is the well-known law of mechanical conservation of energy. By transposition of two terms in (エ), we obtain (オ).

In (オ), it is clear that the decreasing of the potential energy is equal to the increasing of the kinetic energy.

【数式】

a. $m \frac{d^2y}{dt^2} = -mg$

b. $\frac{dy}{dt} = -gt + v_0$

c. $-mg(y - y_0) = \frac{1}{2}mv^2 - \frac{1}{2}mv_0^2$

d. $y = -\frac{1}{2}gt^2 + v_0t + y_0$

e. $\frac{1}{2}mv_0^2 + mgy_0 = \frac{1}{2}mv^2 + mgy$

- | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. | ア | a | イ | b | ウ | c | エ | d | オ | e |
| 2. | ア | a | イ | b | ウ | e | エ | c | オ | d |
| 3. | ア | b | イ | a | ウ | d | エ | e | オ | c |
| 4. | ア | a | イ | b | ウ | d | エ | e | オ | c |
| 5. | ア | b | イ | a | ウ | c | エ | d | オ | e |

【正解】 4

[論文式試験問題]

[問] 次の文章を読んで、後記の各設問に答えなさい。

(省 略)

【設問1】 1800 年を境に、音楽の在り方はどのように変化したと筆者は述べているか、6 行程度で要約しなさい。

【設問2】 相撲、剣道、柔道といった、日本の伝統的な競技を国際化することについて、現在、賛否両論がある。この問題に対し、設問1で要約した筆者の主張を踏まえながら、10 行から20 行程度で自分の考えを述べなさい。

【出題趣旨】

本問は、音楽に関する評論を題材としているが、音楽に関する知識を問うものではなく、一定の題材を与えて小論文の作成を求めることで、思考力、分析力、理解力等を問うものである。設問1においては、題材とされた評論を読み解き、筆者の主張を要約することを求めており、これに当たっては、限られた人々を対象とすることが念頭におかれている言語としての音楽と、万人が聴衆であることが念頭におかれている気分を訴えかける音楽との対比を的確にとらえる必要がある。設問2においては、設問1で要約した上記の対比を踏まえながら、国際化、グローバル化の問題の一場面として、日本の伝統的な競技への外国人の参加を促したり、これを海外に広めることについて、自らの見解を述べることを求めている。各設問とも、解答の目安となる行数を示しているが、これは、理解力を問うとともに、一定程度の分量で、的確に表現できるかどうかも含めて、思考、分析、表現の能力を試すためであり、目安に示された行数程度の分量で、簡潔かつ的確な論述を行うことが求められる。

【出典】 岡田暁生『音楽の聴き方 聴く型と趣味を語る言葉』（中公新書、平成 21 年）